

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年11月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670201062
法人名	社会福祉法人 祥健会
事業所名	グループホーム とうごう苑
所在地	鹿児島県薩摩川内市東郷町斧淵2636番地1 (電話) 0996-21-6551
自己評価作成日	平成26年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設当時の木のぬくもりを大切にした建物の中、「やさしい手に温かい心を添えて 住みなれた地域の中 明るい笑顔で 心のこもったふれあいとその人らしさを大切にします」の理念を掲げ、入居者様が毎日を笑顔でいきいきと過ごしていただけるよう取り組んでいます。入居者様の認知症の進行や身体機能の低下により、重症化していますが、花見、ドライブ、夏祭り、そーめん流し、敬老会、一日遠足、クリスマス会などの外出の機会を作り、楽しく暮らしていただけるよう努力しています。安全面の配慮として、入居者様を含めた避難訓練や年一度の地域の方々も含めた夜間避難訓練を実施し、スタッフ、ご家族、地域の方々、ボランティアの方々と協力し、支援しています。また、今後ますます進むであろう入居者様の重度化に対応するため、医療との連携や、更なる資格取得を目指したり、各種研修会への参加や、スタッフの質とサービスの質の向上のため、他事業所へ接遇の研修に行くなど、スタッフ一同、協力しながら、質の良いケアを提供できるよう、毎日業務に励んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は東郷町の静かな住宅地域に立地している。周辺には同法人の小規模多機能事業所等があり、災害時の相互の協力関係が構築されている。近辺には温泉や物産館、公民館もあり民家も多い。散歩や買い物の際には多くの人と挨拶や会話を交わし、野菜を頂いたりして楽しめる環境にある。
- ・夏祭りやいきいきサロンなど、地域行事や清掃に積極的に参加したり、年2回はサロンの場として地域住民へ事業所を解放したり、認知症に関する講演依頼を受け地域と共に認知症対策に取り組んでいる。
- ・利用者個人をよく把握し、生活スタイルに合わせて張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。口腔ケアにも力を入れている。
- ・管理者は職員育成に力を入れ資格取得を支援している。法人も資格取得に協力的な事から殆どの職員が有資格者となっている。職員間のチームワークもよく家族からも信頼されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとしての理念をスタッフ全員で考え作成、朝晩の申し送り時に唱和することで、常に理念を意識して業務に当たり、理念に沿ったケアに努めている。	全職員で話し合っ作成した理念は、施設内に掲示し、申し送り時に唱和したり、毎月のスタッフ会議等を通して振り返り、日々の支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として、自治会の掃除への参加や、サロンのグループホームでの開催。職場体験や地元の中高生の実習受け入れなど、認知症や認知症の方々の支援方法などを地域へ発信している。	地域の行事や清掃活動等に積極的に参加し、散歩や買い物の際には挨拶を交わしたり、野菜などが届けられたり、中高校生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。事業所で地区の「いきいきサロン」を実施したり認知症についての講演依頼を受けたり口腔ケアについて話をする等、地域と交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	避難訓練や行事の際、地域住民やボランティアの方々に、認知症の人への理解や支援方法を説明したり、ご家族へ認知症の方への接し方など、お話ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、利用者状況や運営、活動実績報告をするほか、避難訓練のあり方や事故報告、その対応策などについて相談したり、スタッフの実習報告を行い、助言や協力をいただいている。</p>	<p>会議は定期的開催している。利用者の状況や施設の実績報告・事故事例検討・外部評価の結果報告・現在取り組んでいる事について報告し、参加者からの提案で消防署の見学や防災体験学習・施設周辺の危険個所対策等、会議での具体的な取り組みでサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会やホーム行事に参加していただいている。また、福祉事業や事務手続きなどの分からないことやボランティア依頼など、日頃から密に連携し、協力をもらっている。</p>	<p>市担当者とは、利用者の相談や情報を交換したりボランティア依頼等、アドバイスを貰い、日頃から連携関係ができています。市主催の研修会にも積極的に参加している。運営推進会議や施設行事に市の担当者の参加を得て協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、ホーム内研修を定期的実施している。実際の事例検討をするなどして、常に禁止となる行為を行っていないかをスタッフ全員で振り返り、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会が中心となり法人内や施設内で計画的に研修会を実施、事例を検討するなど職員の共通認識を図っている。常に振り返りを行い身体拘束ゼロを実践している。玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止委員会を設置し、高齢者虐待防止法等について、定期的に研修会を実施している。また、実際の事例検討をする事で、高齢者虐待になっていないかをスタッフがお互い注意し合いながら、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	権利擁護に関する研修会に参加したり、権利擁護が必要と思われる入居者には、個々に関係者と協力し、活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約については、十分に時間を取り、各項目丁寧に説明している。また、不安や疑問点がないか確認しながら、納得を得た上で、契約されるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の状況報告を兼ねて、苑だよりを作成している。面会簿の工夫や状況報告時、運営推進会議時に意見や要望を貰うようにしている。家族会を開催し、何でも言うていただけるような関係作りに努めている。	利用者からは日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意し、会話などを通して思いを聞いている。家族からは面会時や面会簿に意見欄を設けたり、電話や運営推進会議・家族会・年2回の大掃除時に意見や要望を把握したり、利用者の状況報告を兼ねて毎月苑便りを送付し、出された意見や要望等は職員で話し合い、日々のケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者も、スタッフ会議に参加しており、代表者や管理者とスタッフが話しやすい環境作りに努めている。朝夕のミーティングやスタッフ会議などで、スタッフの意見や提案を聞く機会を持ち、出された意見などは、代表者や管理者、スタッフ全員で検討し、運営に反映させている。	代表者や管理者はミーティングや毎月のスタッフ会議等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設けている。日頃から職員とのコミュニケーションを図り、相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。職員の資格取得の支援も行っている。年1回、代表者や管理者が個人面談も行って意見は運営に反映するように図られている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、スタッフ一人ひとりの仕事に対する思いや希望、日々の努力や成果を常に把握し、働きやすく、やりがいや向上心を持って働けるよう職場環境や条件の整備に取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、スタッフが平等に研修に参加できるように、研修を計画実施したり、資格取得を推進して、受験費用の補助など、職員を育てる支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、事業者がGH連絡協議会に加入し、研修会や交流会に参加できるよう支援している。多くのスタッフが研修会などに参加して情報交換、ネットワークづくりに努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申込時や入居時に、ご本人に面会したり、見学に来ていただいたりして、馴染みの関係を作るよう努めている。また今の生活の様子や身体状況、不安なことはないかなどを伺い、安心していただくよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込時に、現在のご本人やご家族の状況、不安や要望、困っていることなどを伺い、ホームでの生活や支援できること、ご家族に協力していただくことなどをお話しし、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の話をお聞きし、今何が必要か、何を求めていらっしゃるか見極め、他のサービスを含めた総合的な支援が出来ないか検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは、共に生活し、支え合うという事を常に意識し、スタッフと利用者、利用者同士、家族と利用者、地域の方やボランティアと利用者と、暮らしを共にする者同士の関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居されてからも、自宅にいらっしゃる時と同様に、利用者と家族との絆が途切れないように配慮し、常に入居者様の状況を報告している。入居者様の対応に困ったときなど、ご本人と家族の気持ちを大切に、ご家族に相談するなどして、あくまでも、利用者様とご家族を中心に、共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族やボランティアの協力ももらいながら、以前住んでいた地域のいきいきサロンに参加していただいたり、近くのスーパーに買い物に行くなどして、慣れ親しんだ場所へ出かけ、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。</p>	<p>地域行事や出身地域でのいきいきサロンに参加したり、買い物や外出・外食などに出かけたりして馴染みの場所や人との関係継続ができるよう支援している。馴染みの知人の訪問を奨励し、地域住民や知人が訪ねて来やすい環境づくりを働きかけている。家族の協力で理美容院の利用や買い物・墓参などにも出かけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合った利用者様同士がいつでも話ができる環境を作ったり、コミュニケーションが取りにくい入居者様も、スタッフが関わり、社会性を保てるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、入居者様御家族が訪問して下さり、必要に応じて、相談に乗るなど、これまでの関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望を、直接ご本人に聞いたり、日々の生活の中の言動や表情から汲み取って、不安なく、生きがいを持って暮らせるよう支援している。また、ご家族からも情報してもらい、思いや意思を把握するようにし、できる限り希望に添えるよう努力している。	入所前のアセスメントを参考に日常会話や表情・しぐさから思いや意向をくみ取るよう心がけている。職員も気づきを記録し、幅広くその人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。意思疎通が困難な場合は家族からの情報を得て、職員間で話し合い本人本位の視点に立って支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申込時や入居時に、ご本人やご家族に、これまでの生活歴やサービス利用の経緯を伺い、把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムの把握、毎日の暮らしの中で、心身状況やできること、できないことの把握（まず、試してみることから始め）、有する能力の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人がどう暮らしたいか、ご家族はどのような暮らし方を望まれているかをご本人、ご家族、ケアマネ、スタッフ、主治医等で話し合い、それぞれの意見を反映してアセスメントやモニタリングを行い、ご本人が望む暮らしに、少しでも近づけるよう介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族の意向を確認し、主治医やその他必要な関係者・職員で話し合い、介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直しをしている。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケース記録に、食事の量や排泄状況、バイタルや日常の変化や気づきなどを記入し、スタッフ間で情報を共有したり、入居者様のちょっとした言葉などをヒントに、ケアや計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>平八で家族の状況、ていつ々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の状況や希望に応じ、急な外出支援や通院介助など、柔軟に対応し、ご本人や家族の希望に添うように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者が安心して暮らせるよう、地域のスーパーや訪問美容、民生委員やボランティア、保健センターの保健師や歯科衛生士、緊急避難時の消防局や地域協力者など、地域資源と協働して支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームの協力医の、定期的往診のほか、急な体調不良時も、すぐに往診してもらったり、病院受診するなど、安心して適切な医療が受けられている。また、入居前からの専門医の受診が必要な入居者は、継続して適切な医療を受けられるよう家族と協力しながら支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関からの1週間に1回の訪問診療がある。緊急時の対応は24時間医療連携体制が整っている。家族の協力を得ながら通院支援や専門医受診を必要に応じて職員も同行している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>スタッフは、日常の関わりの中で、些細な体調変化を見逃さないよう早期発見に努めている。また、変化に気づいた時は、協力医療機関の看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、スタッフが付き添い、入院に至るまでの状況を医療機関に報告するなど、情報交換を行っている。また、入院中も、面会に行き、安心して治療ができ、医療機関の相談室等とも連携を取りながら、早期退院ができるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にターミナルについてのアンケートをいただいたり、重度化や終末期が近い場合は、状態が変化する度に、事業所、ご家族、主治医で今後の対応について話し合い、ご家族が望まれる対応ができるよう、チームで支援している。</p>	<p>契約時に終末期に伴うアンケート調査で意向を踏まえ、事業所が対応し得るケアについて説明を行っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、協力医療機関と連携して取り組んでいる。看取りの事例が数件ある。定期的にターミナルケアについての勉強会を実施し、職員の意識の統一を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時のマニュアルを作成し、応急手当や蘇生法の訓練を行ったり、その時に慌てないようシュミレーションしておくなどの準備をしている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練の実施や防災教育、災害時対応の研修会を行っている。年1回の夜間避難訓練には、消防署や地域支援協力者の方々にも参加していただいで、入居者様が安全に避難できるよう体制を整えている。</p>	<p>定期的な避難訓練の実施を行い、年1回消防署の指導のもと、夜間想定での避難訓練を実施している。定期的に防災教育や災害時の対応などの勉強会を実施している。通報装置やスプリンクラー設置・その他の防災設備もある。近隣の法人事業所や地域住民との協力体制もできている。災害時の非常食も完備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格を尊重し、優しく思いやりを持った声かけや、誇りやプライバシーを損なわない対応ができるよう、他事業所へ実習へ行くなどして勉強している。また、個人情報の取り扱いも、研修を行うなどして、十分配慮している。	法人全体や施設内研修を定期的 に実施し、入浴やトイレ誘導 などでは羞恥心に十分配慮して 利用者のプライドを損なわない 対応を行っている。個人記録等 の取扱いは秘密保持を重視した 管理がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせた声かけを行い、「はい」「いいえ」で答えられ、自己決定しやすいよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、入浴や食事、その日の体調や気持ちに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に、髪をカットされたり、一人ひとりの生活習慣や好みに合わせ、外出時や行事の時には、お化粧されたりして、お洒落を楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>旬の物や、昔懐かしい物、好んで召し上がっていた物、行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。ミキサー食も、一品ごとミキサーし、見て楽しめるよう工夫している。弁当持参の遠足など、外食が楽しめる工夫もしている。</p>	<p>毎日の献立はそれぞれのユニットで希望を聞きながら作成している。食事形態など食事が楽しみになるよう工夫されている。利用者の力量に応じて家庭菜園の野菜を採取して下準備や片付けなど職員と一緒にしている。行事食や外食・季節の料理・弁当持参で外出するなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの摂取量や好み、食事の形態など、状態や力、習慣、病歴などを考え、とろみをつけたり、ゼリー状にするなど工夫しながら、十分な栄養が摂れるよう支援している。栄養状態が悪い方には、高カロリーゼリーや豆乳など、その方に合わせた食材をお出ししている。夏場は、お茶ゼリーを作るなどして、水分確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアの大切さを理解し、毎食後、一人ひとりに合わせた口腔ケアの声かけや介助を行い、入居者の方も、口腔ケアが習慣となるよう支援している。また、入れ歯の手入れや歯磨きの仕方など、歯科衛生士など専門家の講習を受けるなどして、取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、座位ができる方のトイレ誘導、声かけを行い、職員2人で介助するなどして、できる限りトイレでの排泄していただき、自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表で排泄パターンの把握を行い、座位のできる利用者はトイレ誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。食物繊維の多い食材や乳製品などで食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。夜間ポータブルトイレ利用者にも危険防止の工夫をし、安全な介助に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や食物繊維の多い食べ物、水分をゼリーで固めるなどの工夫や、適度の運動の声かけや介助など、一人ひとりに合わせた便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの好みに合わせ、ゆっくりと入浴していただけるよう支援している。入浴拒否がある場合は、浴室を温めたり、入浴の大切さを説明したりして入浴していただいている。また、曜日にとらわれず、翌日に延期するなどして、気持ちよく入浴していただけるよう支援している。	入浴は基本的に週3回であるが、個々人の体調や希望に添った入浴ができるように支援している。入浴をいやがる利用者には、ゆっくり時間をかけて声かけや足浴・清拭など職員間で連携し、状況改善に努めている。日曜日は爪切りと耳掃除を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりが落ち着かれる場所（ソファやこたつ）を作り、好きな時に、休息したり、安心して気持ち良く眠られるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬一覧表を作成し、スタッフは、薬の目的、副作用、用法や用量など理解している。また、薬の変更時には、口頭、連絡帳に記載して確認し、服薬時は、必ず2人で確認してから与薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力を生かせるよう、利用者の希望を聞きながら、毎月行事を計画し、気分転換できるよう支援している。また、体や頭を十分活用していただくよう毎日レクリエーションにも力を入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日のちょっとした散歩や買い物支援、また、花見や遠足、ソーメン流しといった外食など、家族やボランティアの協力をもらいながら、出かけられるよう支援している。	日常的には近隣の散歩や買い物・個々の楽しみごとに合わせて、戸外に出かける支援をしている。年間行事計画を立て家族の協力をもらいながら、花見やソーメン流し・外食に出かけている。車両や介護の人手については法人内の協力も得られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの能力に合わせ、支援している。自己管理できる方には、買い物で使ったりされるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望により、自由に電話したり、手紙のやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物は、木の温もりが感じられ、窓も大きく、周りの畑が見えるなど、開放感がある。季節感のある飾り付けや、観葉植物を置くなどし、空調や温度などにも注意し、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>共用空間は天井が高く、木のぬくもりに和の照明が柔らかく、温度・湿度に配慮され掃除が行き届いている。大きな窓も掃き出しになっており、中央にウッドデッキがあり開放感がある。台所も広く利用者にも使い易い工夫がしてある。掘炬燵やソファがあり、好きな場所で安心して過ごせるように配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングのソファや和室の掘こたつなど、思い思いに過ごせる居場所の工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や寝具、位牌、家族の写真などを持ち込まれ、好みの部屋にされ、ご本人が居心地よく安全に過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室には、冷暖房機や空気洗浄機・洗面台・収納棚・ベッドが設置されている。家具やテレビ・写真・飾り物・好みの物、家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、それぞれの居室からは外に自由に出られるなど開放感があり、居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの分かる力を見極め、必要な目印をつけたり、転倒を防止できるように、物の配置に配慮して、安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない